

令和4年度 FD 実施計画書・報告書

令和5年4月現在

I 学部学科・研究科名 栄養科学部 栄養科学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組No.	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討	I-1-(1)	・ 令和4年6月の学科会議において、学部長、学科主任および学科 FD 推進担当の教員らで作成した DP ルーブリックの原案を提示し、文言の修正を経て同年11月の学科会議で承認された。その後、新規作成したカリキュラムマップと共に令和5年2月に FD 推進センターに提出した。 ・ 栄養科学部アセスメントプランについて、基本的な方向性と今後の検討の進め方を学科 FD センター委員がフード・マネジメント学科 FD センター委員と協議した。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ ルーブリック共通フォーマットを授業担当者へ周知	I-2-(1)	・ 令和4年4月、シラバス入力に紐づいた授業ルーブリック課題ルーブリックの導入率を上げる意義について研修を行った。当初、講義・実習・演習別に学科共通フォーマットとそれを活用した作成を計画していたが、令和5年度以降に持ち越されることとなった。
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・ 数理・データサイエンス・AI に関連する科目等のカリキュラム化	I-1-(4)	・ 本項目については、令和3年度の FD 研修において、既に以下のコンセンサスを得ていた。すなわち、1) 数理・データサイエンスに関する項目は、モデルコアカリキュラム、管理栄養士国家試験出題基準の中に配置されているため、これに関する文言を新 DP に配置した。2)すでに数理・データサイエンスに関する項目は、本学科の既存科目で教育されていることを確認した。 ・ なお、各科目に数理・データサイエンス・AI のトピックは、社会の変化情勢に応じて変化するため、各科目での教育・教授について取り入れることは必要であり、次年度の FD 研修で検討する予定である。

4	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・「成績評価ガイドライン」に基づく各学科・研究科の実施要領の策定	I-2-(2)	・令和4年度のFD研修会および学科会議において、成績評価ガイドラインはFDセンター策定案に準じるということで承認された。 ・令和5年2月、成績評価ガイドラインの説明を改めて行った上で、複数科目の成績分布の実態を示し、理想と現実の比較や、そのギャップについて各科目担当者間で情報を共有した。令和5年度は、本成績ガイドラインを念頭においた公正な評価について、引き続き各教員が点検と改善を行うことに加えて、毎年のFD研修会で成績分布の推移等について検証することのコンセンサスが得られた。
5	各学科・研究科内FD研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	・令和4年度のFD研修は、基本的にFD2021を達成することを念頭に置いた内容で実施した。 その他、令和4年5月に教育の質向上を目的とした研修の伝達講習を行い、令和5年2月に研究の質向上目的とした三学科合同研究会が開催された。

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
3.5	4月	・FD 重点項目に基づく R4 年度研修日程および内容の共有 ・FD2021 3 年計画における学科の取り組み進展状況の共有 ・改定 DP の確認、意見交換	4/29	・FD2021 3 年計画における学科の取り組み進展状況とそれに基づく令和 3 年度の FD 実施内容および令和 4 年度の FD 実施計画を共有した。 ・令和 3 年度の授業ルーブリックが 22%(達成率 73%)で「C」評価であったことについて、11 月の FD 研修共通フォーマット、およびそれをベースにした作成方法、使用方法の研修を行い、段階的に適切な授業ルーブリックの導入することでコンセンサスを得た。 ・改定 DP、CP の意見交換を行い、最終案を 5 月の学科会議で承認を受け、次に DP ルーブリックの作成を目指すことで了解を得た。
5		・管理栄養士の卒前教育に求められる養成施設の果たすべき役割についての講習	6/8-6/28 オンデマンド	・栄養士養成協議会が主催したオンライン特別研修会「養成施設の教員に向けた令和 4 年度診療報酬改定の解説および医療現場に向かう管理栄養士の卒前教育に求められる養成施設の果たすべき役割」の伝達講習を実施した。これにより、以下の 3 点を共有した;①研修会のメインである診療報酬改定の最新情報やそれに関連した専門職の提言内容。②最近の医療で求められている管理栄養士像。③診療報酬改定を受けて、学科カリキュラムや各科目で教授している内容を各自確認。
1	6月	・改定 DP に基づく DP ルーブリックの検討・策定、使用方法の共有	6/30	DP ルーブリックの意義、運用方法などについて、説明および情報の共有を行った。また、改訂 DP に基づいた DP ルーブリックの案を提示し、点検、文言のブラッシュアップ、修正案提示などを行っていただくよう依頼した。7 月中に修正案をとりまとめ、9 月の学科会議において承認を受け、10 月に FD センターへ提出する運びについて情報共有を行った。
4	7月	・学科の成績分布の現状を共有し「成績評価ガイドライン」の実施要領を検討する。	2/24	成績評価ガイドラインおよび学科科目の成績分布の現状について説明がなされた。今後、成績評価ガイドラインを遵守し、適正な成績の提示、成績の分布に十分に配慮するよう説明がなされた。

3	9 月	「Society5.0 社会とデータ利活用からみた栄養業務：AI を活用した管理栄養士の将来像」について学び、各科目に数理・データサイエンス・AI のトピックを取り入れることを検討する。	中止	コロナ禍により中止
2	11 月	・改定 DP に基づくカリキュラムマップとカリキュラムツリーへの展開に関する情報共有 ・ルーブリック共通フォーマット、作成方法および使用方法を授業担当者へ周知し、次年度のシラバス作成時におけるルーブリック導入率を向上することのコンセンサスを得る。	10/27	・教務委員および大学基準評価委員の視点から、シラバス作成の義務化、3つのポリシーの策定と公表の義務化、FD の義務化などを含めた FD 活動の重要性について説明がなされた。 ・改定 DP に基づくカリキュラムツリーおよびカリキュラムマップの案をベースに、科目担当者の意見を反映させる作業を行った。 ・ルーブリック共通フォーマット案の提示、それを例にした作成上の注意点、他の科目への展開についての説明までは実施できず次年度の課題となった。
5	2 月	三学科、すなわち栄養科学科、フード・マネジメント学科および食物栄養学科、合同で各教員の研究を紹介する。また、研究プロジェクトの成果を報告する。	2/22	今年度は、最近、着任された各学科の教員より、これまで取り組んできた研究成果について発表および活発な議論が行われ、今後の共同研究や相互連携の一助となる会となった。 ・難消化性糖質素材の有効エネルギー評価(N) ・産学官連携による地域発展を目指した新たな食開発の取り組み(F) ・有明海の海苔養殖における格付けの意義について(S) ・エピジェネティクス制御の分子的理解—DNA メチル化制御について—(N)
1	3 月	・DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討	3/6	栄養科学部アセスメントプランについて、基本的な方向性と今後の検討の進め方を学科 FD センター委員がフード・マネジメント学科 FD センター委員と協議した。